

製品名: BUILD.一貫Ⅳ+

項目1: 出力結果

項目2: 冷間成形角形鋼管

タイトル: STKRとBCRを混用した場合、BCRの部分も柱梁耐力比1.5を満足しなければならないのですか？

Q.

STKRとBCRを混用した場合、
BCRの部分も柱梁耐力比1.5を満足しなければならないのですか？

A.

「平成19年6月20日施行 改正建築基準法・建築士法及び関係政省令等の解説」(第2版)
P606には以下の記述がありますので、満足する必要があります。

STKR材を用いる場合、1階の柱脚及び最上階の柱頭を除くすべての柱はり接合部において、
柱の耐力が梁の耐力の1.5倍以上となる全体崩壊メカニズムとしなければならない。

この件に関しては、(社)日本鉄鋼連盟のボックスコラム委員会にも
この処理で良い旨確認を行っています。